

障害のあるお子様がいるご家族向け ファミリー・リソース・ツール・ボックス

米国教育省（USED）は、学校が生徒、教育者、及びサービスプロバイダーの健康と安全を保護しながら、障害のある生徒に無償適正公共教育（FAPE）を継続して提供する必要があると明記した[ファクト・シート](#)（概況報告書）を発行致しました。このような異常な状況下においては、特殊教育サービスは、校舎が開かれて完全に稼働している時とは異なる方法で提供されます。リモートでの特殊教育サービスは直ちに開始されるべきです。リモートサービスを受けるための同意書の提出は必要ありません。皆様は、学校がどのようなリモートサービスを提供するかについての計画を受け取ります。

このドキュメントには、皆様に役立つと思われるリソースやツールが掲載されており、これらは定期的に更新されます。

COVID-19 リソース:

多くの州政府機関および国家的組織は、この長期に渡る学校閉鎖期間中に、ご家族とそのお子様達をサポートするための情報またリソースを提供しております。

ご質問、懸念事項がある場合、または追加情報が必要な場合は、以下にご連絡ください：

- お子様の IEP チーム / 担当者 (まずは常に学区の関係者にご連絡ください)
- 地元の特殊教育保護者諮問委員会 (SEPAAC: Special Education Parent Advisory Council)
- 情報ラインおよびサポートライン
 - 特別支援を必要とする児童連盟 (FSCN: Federation for Children with Special Needs)
 - Eメール: info@fcsn.org
オンライン受付フォーム: <https://fcsn.org/ptic/call-center/call-center-intake-form/>
ウェブサイト: www.FSCN.org
 - トールフリー: (800) 331-0688
 - 中国語: (617) 399 8358
 - ハイチ・クレオール語: (617) 399 8366
 - ポルトガル語: (617) 399 8316
 - スペイン語: (617) 399 8330
 - マサチューセッツ州児童擁護団体 (MAC: Massachusetts Advocates for Children)

- ウェブサイト: www.massadvocates.org
 - 英語: (617) 357-8431, 内線番号 3224
 - スペイン語: (617) 357-8431, 内線番号 3237
- 公衆衛生局 (DPH: Department of Public Health) 特別支援を必要とする児童のための地域支援ライン: (800) 882-1435

マサチューセッツ州の州政府機関は情報とリソースを頻繁に更新致します:

- 初等中等教育局: <http://www.doe.mass.edu/covid19/>
- 早期教育監護局: <https://www.mass.gov/lists/early-childhood-education-resources-for-families> 及び https://eecllead.force.com/apex/EEC_ChildCareEmergencyFAQParents
- 公衆衛生局・早期介入課: <https://www.mass.gov/alerts/ei-telehealth#undefined>
- 公衆衛生局・特殊医療を必要とする児童・青少年課: <https://www.mass.gov/orgs/division-for-children-youth-with-special-health-needs>
- 精神保健局: <https://www.mass.gov/info-details/covid-19-information-about-dmh-programs-and-services>
- 発育サービス局: <https://www.mass.gov/lists/coronavirus-resources-for-dds-families-and-individuals> and <https://www.mass.gov/lists/resources-for-individuals-at-home>
- マサチューセッツ州聴覚障害者委員会: <https://www.mass.gov/orgs/massachusetts-commission-for-the-deaf-and-hard-of-hearing>
- マサチューセッツ州視覚障害者委員会: <https://www.mass.gov/lists/covid-19-resources-for-the-mcb-community>
- マサチューセッツ州リハビリテーション委員会: <https://www.mass.gov/service-details/coronavirus-updates-from-mrc>
- マサチューセッツ州児童家庭局 (DCF):
 - DCF COVID-19 最新情報: <https://www.mass.gov/info-details/dcf-covid-19-resources-and-support>;
 - 家庭リソースセンター: <https://www.frcma.org/>

ご家族へのサポート:

現在はストレスの多い時期です。自分を大切に、必要な時には助けを求めることが大切です。多くの政府機関が COVID-19 非常時の間、ご家族の皆様にもリソースとサポートを提供しております。

- [保護者支援プログラム](#)は“Home for Little Wanderers”を通し、行動また精神的な健康障害を持つお子様を世話するご家族に対するサポートやグループ・ディスカッションを提供致します。
- 米国小児科学会は [COVID-19 を介しストレスに直面している親に助言](#)を出し、セルフケアを実践し、他の人に支援を求めるよう奨励致しました。

- “[Family Aid Boston](#)”(ファミリー・エイド・ボストン)は、ホームレスになることを心配している、または経験しているご家族にリソースを提供致します。
- “[Child Mind Institute](#)”(チャイルド・マインド・インスティテュート)は COVID-19 に関連するストレスに対処している家族の為に電話相談、ビデオチャット、その他のリソースを提供致します。
- ご両親を助けている親: <https://www.parentshelpingparents.org/>.
- 保護者用ストレスライン (PSL: Parental Stress Line) : 24 時間利用可能で多言語に対応できる極秘・匿名ホットライン 1-800-632-8188.

ホットライン:

家庭内暴力:ご自身、もしくはご自身をご存知の誰かが、安全を感じながら過ごすことができない家庭の中で隔離している場合、その方に対する援助がご利用可能です。

- セーフ・リンクは 24 時間利用可能で多言語に対応できるホットラインです。擁護者は、安全計画を立てる手助け、また避難所、家庭内暴力支援グループ、およびその他多くのニーズに役立つリソースを見つけるお手伝いを致します。
 - セーフ・リンク 24 時間危機相談ホットライン: (877) 785-2020; TTY: (877) 521-2601
- ナショナル・ドメスティック・バイオレンス (全米家庭内暴力) ホットラインは、24 時間利用可能で支援および安全計画を提供致しております。ライブサポートが必要な場合は 1-800-799-7233 までお電話下さい。安全に話すことができない場合は thehotline.org にログオンしてオンラインでチャットするか、「LOVEIS」と記したテキストを 22522 にご送信下さい。

児童虐待:児童虐待または児童放置の事件をご存知あるいは疑いがある場合は、ただちにお電話ください。

- 通常の営業時間中 (月-金 8:45 a.m.-5 p.m.) の場合は、お子様が住んでいる [市または町に地域のサービスを提供している州児童家庭局 \(DCF\)](#) までお電話ください。
- 夜間、週末、休日の場合は、“*Child-at-Risk*” (チャイルド-アット-リスク) のホットライン ([800\) 792-5200](https://www.dcf.state.ma.us/child-at-risk)) までお電話ください。

ご家庭にインターネットがない場合?

- コムキャストは、ご家族がインターネットにアクセスできるようにするための取り組みを斡旋しています。[コムキャストが提供している詳細についてはこちらをご覧ください。](#)
- ボストンでは、市長が [インターネットへの接続とテクノロジーリソースへのアクセス](#)に関する情報とリソースを共有しております。

- “[ブルーム](#)” ([Vroom](#)) は、5 歳以下のお子様向けに、無料で使いやすい学習アドバイスを、皆様の電話に直接提供しております。
- 携帯電話を使用したテキストメッセージ（メッセージとデータを使用したレートが適用される場合があります）やアプリによる学習をサポートするご家族向けのアドバイスやリソースを提供するプログラムがご利用可能です。

学校閉鎖中の補足学習:

お子様の学校の課題をサポートする以外にも、お子様が気楽に学習に取り組めるたくさんの方法があります。方法に疑問を感じたり迷う時は、読んで、読んで、読ませてください！読書は、全体的な学習をサポートするのに最も重要な活動の一つです。オンラインには、様々な学習用ゲームもあります。お子様の好奇心を刺激し、新しいものを体験させ、作業に取り組めるものなら、いずれの方法でも価値があります。

- “[Unite for Literacy](#)” (識字能力の一体化) は、生徒が読める様々なフィクションの小説や情報テキストを含む絵本などへの無料デジタルアクセスを提供しています。また、テキストを解説してもらえるオプションもあります。
- “[National Center on Improving Literacy’s](#) (国立識字能力向上センター)” の [ツールキット](#) は、ご家族が識字能力を理解し、勧められた演習を実践するのに役立ちます。
- [幼児期技術支援センター \(ECTA\)](#) は、幼児のお子様がいるご家族向けの情報と活動を提供します。
- [ピラミッドモデル](#) は、乳幼児と幼少期のお子様の社会的感情スキルを促進するもので、お子様達が社会的感情スキルを理解して発達するのに役立つ [ブックリスト](#) を作成致しました。
- “[Heggerty](#) (ヘガティ)”: 基本的な読解力に取り組む活動。これらの活動は 4~6 歳児に最適です。
- [ストーリーライン・オンライン](#) また “[Epic](#)” ([エピック](#)): 良質の児童文学を読み上げるのを聞きながら、イラストをご覧になれます。
- 読書研究フロリダセンターが提供する初期の読み書き [ゲームとアクティビティ](#): 簡単に印刷して一緒に遊ぶことができます。
- デジタル式 [デコードが可能な読み物](#): このタイプの本は、まだ簡単な単語を発音して読むことを学んでいるお子様達の読書練習に推奨されています。

組織:

学校閉鎖期間中に、一貫した日程を維持することは、お子様達の安定感を保つのに重要なことです。

- 日常の日程とスケジュールを設定しましょう。必ず、休憩時間を含めてください。DESE は、独立指導とリモート指導を含めて、平日 3 時間半から 4 時間の学習を推奨しています。

- カレンダーやデイプランナーを使用し、毎日の活動の記録をつけましょう。特に年の若い障害を持つ多くの子供達には、今後の活動の経過を把握するために写真を使った視覚的なスケジュールを使用するとよく反応します。
- 集中力を維持するのに更なるサポートが必要な学生には、オンライン上で視覚的なカウントダウン・タイマーを使用することができます。
- 気が散るのを制限し、お子様が作業できる静かな場所を用意してあげましょう。
- 時間通りに作業をしたり課題を終了したお子様には報酬をあげましょう。お子様達が楽しめるアクティビティを報酬として使用しましょう。

レッスンの援助:

学校は、学校の閉鎖期間中に、学生が自宅で完了させる課題を提供しています。課題を通して、お子様を導くことにより、お子様の学習をサポートすることができます。

- なぜ学校の作業が大切なのか、何が習得できるのか、どのような活動を完了すべきかを伝えてあげることで、お子様が学習できる準備をしてあげられます。
- レッソンの前に、その背景と語彙を形成してください。お子様にとって難しいと思われる単語やトピックを探します。課題を始める前に、本、絵、ビデオ、Google, またはその他のリソースを使用して、お子様がそれらの単語やトピックを理解できるように助けてあげてください。
- お子様と一緒に指示を読んであげてください。お子様に支持を繰り返させ、何をすべきなのか理解させてあげます。
- まず最初の課題と一緒に取り組んであげてください。次に、お子様が自分で次の作業を行うのを見て、お子様が指示を理解していることを確認してください。
- 必要に応じて、お子様が作業できるようガイドします。時々、お子様をチェックして作業を正しく行っているか確認してください。
- お子様が必要としている場合は、問題解決を助けるアイデアを提供してあげてください。お子様に答えをあげたり、お子様の代わりに作業をしないようにしてください。
- お子様電話やビデオを通して、友達と一緒に作業ができる許可を与えてあげてください。
- 読書、筆記、移動の時間、見たり、聞いたり、話す時間を変えることで、お子様が学習に専念できるように手助けしてあげてください。

障害を持つお子様のための追加リソース:

幼児特殊教育(ECSE: RESOURCES FOR EARLY CHILDHOOD SPECIAL EDUCATION)のリソース:

- 幼児課: <https://www.dec-sped.org/ei-ecse-resources-covid-19>

- ピラミッド・モデル:
 - お子様とご家族が対処するのを援助 - COVID-19 に関するリソース:
<https://challengingbehavior.cbcs.usf.edu/emergency/index.html>
 - 困難な行動を管理しているご家族をサポートするバックパック・シリーズ:
<https://challengingbehavior.cbcs.usf.edu/Implementation/family.html#collapse2>

成人期になるまでの ECSE が提供するリソース:

- 特別支援が必要な児童連盟 (FCSN: Federation for Children with Special Needs) –このサイトは毎日更新されます: <https://fcsn.org>
- “The Arc of Massachusetts” (アーク・オブ・マサチューセッツ) –
 - 毎週のウェビナー・シリーズ: <https://thearcofmass.org/post/the-arcs-covid-19-updates-the-arc-launches-weekly-webinar-series>
 - 平静を保ちながら連絡を取り合う: <https://thearcofmass.org/post/the-arcs-covid-19-updates-staying-calm-and-connected>
- 応用行動解析 (Applied Behavioral Analysis) に関する自閉症保険センターと Covid-19:
<https://disability-info.s3.amazonaws.com/AIRC/pdf/COVID-19-Fact-Sheet.pdf>
- ピアソン・コネクション・アカデミー (Pearson Connection Academy) :
<https://www.pearson.com/news-and-research/working-learning-online-during-pandemic.html>
- 不安定な時期を経て自閉症のある個人をサポートする: COVID の非常時に ASD のある個人のニーズを満たすための 7 つの支援戦略: <https://afirm.fpg.unc.edu/supporting-individuals-autism-through-uncertain-times>
- 全米家族協会、学校・コミュニティの関与 (NAFSCE: National Association for Family, School and Community Engagement): <https://nafsce.org/general/custom.asp?page=coronavirus>
- 自閉症遠隔教育ペアレントトレーニング:
<https://health.ucdavis.edu/mindinstitute/centers/cedd/adept.html>
- 視覚障害を持つ学生 (AMESVI) を支えるマサチューセッツ州教育者協会の家族と生徒に対するリソース: <http://amesvi.org/Home/family-and-student-resources/>
- マサチューセッツ州の家族のつながり/親同士のこのプログラムは、特別支援が必要なお子様のニーズを高めることにおいて同様の課題に直面している親同士を結び付けます:
<https://www.massfamilyties.org/parent-to-parent-program/>
- お子様が学習を継続するのを助けるアドバイス- https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/prepare/children.html?deliveryName=USCDC_2067-DM23558
- 全米保護者協会 (PTA: National Parent Teacher’s Association) のよくある質問 (FAQ) と教育者向けのアドバイスまた社会的感情サポートに関する情報と家庭での学習、及び健康的な習慣:
www.pta.org/COVID-19
- “Health Law Advocates” (健康法上の擁護者): <https://www.healthlawadvocates.org/> 法的支援と擁護.

支援機器（アシティブ・テクノロジー）：

お子様の学習に支援機器 (AT) を使用する場合があります。家庭で使用するのどの機器を使用するのが最適か、お子様の担当教師あるいはサービスプロバイダーに確認することができます。

- 機器・障害センター (*The Center on Technology and Disabilities*) は、障害を持つ生徒が支援機器を使用するための基本的なトピックと概念をまとめた [支援機器の紹介ビデオ](#) を提供しております。
- CAST は [リモート学習](#) のウェブページを作成しました。このウェブサイトでは AT に関するリソースと情報を提供致します。
- 初等中等教育局 (DESE) は、ご家族に役立つと思われる [支援機器と利用可能なアクセス方](#) についての情報とリソースを提供しております。
- 国立ろう・聴覚障害センターは、聴覚障害のある人々をサポートするために、よくある質問をまとめた [皆様の質問と回答済みの答え](#) のドキュメントを作成しました。
- キャプション・シンク (Caption Sync) は、[独自のキャプションファイルをユーチューブ \(YouTube\) に追加する](#) のに役立つ情報を提供しております。
- マサチューセッツ州で [アクセスが可能な教材や図書館 \(AIM Library\)](#) への利用可能なリソースにアクセスするために、お子様の視覚障害担当教師 (TVI) を通じて上記に連絡することが可能です。

介護者のツール：

ご家族の皆様は、家族の一員が病気になり障害を持つお子様の世話ができなくなった場合はどうなるのか心配されているかもしれません。その場合に、病院が患者をどのように診断し、治療するのかだけでなく、家族が介護者としての責任をどのようにして他の信頼できる家族または友人に移行することができるのかなどの方法を説明するリソースが利用可能です。

- 病院側は、ご家族と協力してサポートが必要かどうかを確認し、入院時に代替介護者を特定するのに役立つプロセスをすでに開発している可能性があります。
 - 皆様は、ご自分が障害を持つお子様の介護者であること、また介護者としての責任移行について決定する必要がある可能性があることを、医師、または病院のスタッフに知らせる必要があります。
 - ご両親が COVID のため入院したお子様は、お子様ご自身も COVID 陽性である疑いがあることを知ることが重要です。
 - 健康でリスクの高いご家族と一緒に暮らしていない介護者をご検討下さい。
- 病気になる可能性がある介護者のための計画ツール
 - スペイン語とポルトガル語の翻訳を含む移民家族のためのご家族の準備計画：<https://www.masslegalservices.org/content/family-preparedness-packets>.

- 介護者の宣誓供述書: 保護者が介護者としての責任を移行するための計画ツール

<https://www.mass.gov/files/documents/2016/08/ul/caregiverauthorizationaffidavitform.pdf>.

私達は、皆様が親として、家族として、介護者として、仕事や家族の世話など多くの問題を抱えているのを理解しております。私達は、皆様が、最善を尽くしながらも、せめてもの休憩をご自分にも取られることを願っております。まずは、ご自分を大切に、ご家族の心身ともの健康を管理されるようお願い致します。

このリストへの更新については、以下のメールでお問い合わせください：

specialeducation@doe.mass.edu.